



Yokohama Yomiuri ヨコハマよみうり

■発行／横浜読売会
■発行日／毎月5日
■発行エリア／横浜市内全域
■制作／ヨコハマよみうり編集部
〒231-0021
横浜市中区日本大通7
日本大通7ビル4F YBP
<https://yokohama-yomiuri.co.jp>

音楽 落語

プロ野球巨人戦

チケットのお求めは**4面へ**
限定発売あり、お見逃しなく！

今年歌手デビュー60年目を迎える現在も、情熱的なパフォーマンスを繰り広げる歌手・山本リンダさん。一方で『『こまっちゃうナ』を歌う時、心は15歳に戻るんです』と微笑み、シャンソンで人生を歌い上げる。横浜の星空を見上げて歌っていた女の子は、夢を叶え、今も歌い続ける。

思い出いっぱいの横浜

北九州の小倉で生まれ、4歳のころ横浜に越してきました。東神奈川駅に着くと家財道具を積んだトラックが待っていて、その荷台に乗って家に向かいながら、とてもワクワクしていたことを覚えています。最初に暮らしたのが神奈川区の反町、その後、神大寺に移り、高校1年生まで暮らしました。

横浜には思い出がいっぱい。母とお洋服を買いに行くのは桜木町、そのまま野毛山動物園に足を延ばして。「紅座」や「白鳥座」という映画館があって、母とも、また学校の映画観賞会でも行きました。小学校のお友達女の子3人で、自転車をこいで遠出をしたことも。今の新幹線の駅の辺りは畑や小山があって雑木林になっていて、今とは全然違っていました。中華街にも行っだし、海や大きな船が見える港からの景色も大好きでした。

夫も横浜出身。出会った時、東神奈川のスケートリンクやボーリング場、有隣堂などの話をするうち打ち解けて、お付き合いが始まったんです。大好きな横浜。お仕事で来ると、今も親戚の家に必ず立ち寄ります。

二つの夢

音楽好きな母はよく蓄音機でレコードをかけてくれて、小さな私も自然と歌が好きになりました。小学生の時、庭の物置の屋根に上り、星空を見上げながら歌うのが大好きで。星もそれはそれはきれいでした。テレビで越路吹雪さんが歌うシャンソンを初めて聴き、心が震えて。私は絶対に歌手になる！と決めたんです。

近所のお姉さんの「あなたは大きくなったらモデルさんになるといいわね」との言葉に、モデルさんって？とファッション誌を見たら、きれいな洋服を着たモデルさんが!!素敵だなあと。歌手とモデル、二つの夢

を持ったのです。

中学生になりオーディションを受け、歌のレッスンを受けられることに。同じころ、少女モデルとしてデビューしました。モデルのお仕事は楽しくて楽しくて。そのうち、モデルになれたから歌はもういいかな……と思うようになり。そんな気持ちを見抜かれ、ある日、歌のマネージャーさんに呼び出されて「そんなに簡単に夢を諦めるんですか」と。その言葉にハッとして。あんなに歌手になりたいのに、これではいけない。それからは絶対に歌手になりたいという強い気持ちを持って、レッスンに通いました。

長く歌い続けるために

歌手デビュー前、NHKの歌番組『夢のセレナード』で日本初のカバーガールを務めました。ゲストでいらしたシャンソン歌手・岸洋子さんの歌は本当に素敵で。越路さんや岸さんのように長く歌い続けられる歌手になりたい。将来、人生経験を積みつつ、私はこの素晴らしい歌たちをどんなふうに表現できるようにになれるかしら、と胸がときめいて。

『こまっちゃうナ』で歌手デビューしたのは15歳の時。すごうれしかった。でもその後、私は大人になっていくのに、お客さまが求めるのは「かわいいリンダちゃん」。長く歌っていくためには大人のリンダにイメージチェンジしなければいけないのに。お客さまに衝撃を与えられる歌が必要でした。そして21歳、ついに出会ったのが『どうにもとまらない』だったのです。

作曲された都倉俊一先生のたった一度のレッスン。私が「うわさを信じちゃいけないよ♪」と笑顔で歌うと、先生は「違う。歌詞をよく読みなさい。にらみつけて歌う歌だ」と。そうか、そういう女性なんだとにらみつけて歌うと、今度は「発音が違う!この壁に声をぶつけるように歌うんだ!」と。「うわさを…」

vol.132

ヨコハマ **想** い



歌手

山本 リンダさん

Yamamoto Linda

1951年生まれ、横浜育ち。62年ファッション誌『装苑』で少女モデルとしてデビュー。66年『こまっちゃうナ』で歌手デビュー、72年『どうにもとまらない』、73年『狙いうち』が大ヒット。72年日本歌謡大賞(放送音楽賞)、73年ゴールデンアロー賞(グラフ賞)、91年日本レコード大賞(特別賞)ほか受賞多数。89年シャンソンの祭典「パリ祭」に初参加、石井好子らから絶賛を受ける。2024年日本シャンソン館の「殿堂賞」を受賞。「リンダ(Linda)」という芸名は、アメリカ人の父親が生前呼んだ愛称。Lindaはスペイン語・ポルトガル語で「美しい」。

「もっとだ!」「うわさを…」「もっとだ!」「うわさを信じちゃいけないよう!」「そうだ!」と。自分の中に新しいリンダのイメージが生まれた瞬間でした。夢があり、激しく、かつていい女性。主人公になりきって歌の世界を表現することに喜びを感じました。

歌手デビューから60年

かつてよく歌い踊る曲を、ちゃんと歌いたい。そのために時には自宅でストレッチボードやダンベルで体操したり、街ではできるだけ階段を使い、移動も自転車で。歩いていてもふっと心の中で三拍子のリズムを刻むんです。「ワントゥスリー、ワントゥスリー」と。すると、歩くのも楽しくなってきます。(笑)

激しいダンスとは対照的に、年齢を重ねてこそ味が出るのがシャンソン。38歳で初めてパリ祭に参加、今も毎年出演させていただいています。若いころ胸を焦がしたシャ

ンソンを今も歌えているのだから、年齢を重ねるのも素敵なことですね。今年の秋でデビュー60年目に入ります。一つ一つのステージに心を込めて、最低でもあと10年はがんばりたいです。

実は私ね、ものすごいあがり症なんです。ステージに上がる前から緊張して、手が氷のように冷たくなっちゃう。全て終わって楽屋に戻ると、ふわっと温かくなるんです。(笑)

横須賀徳光座 Vol.5
～おトクな大人のコンサート～
灼熱のラテン! 情熱のロカビリー!
至極のオールディーズNight!!

日時／4月22日(火) 17時30分開演
会場／横須賀市文化会館 大ホール
出演／ホスト・徳光和夫
見砂和照と東京キューバンボーイズ
尾藤イサオ、山本リンダ、湯原昌幸
料金／全席指定 前売SS席 8,800円ほか
チケット受付／☎046(823)2951 同館

出張買取／店頭買取

まずはお気軽にお電話を

店舗にいつでもお持ちください

大切にしていたそのカメラ 私買取に伺います

買取後はわたしたちが大事に修理して、次のオーナーさんへ橋渡しをいたします。

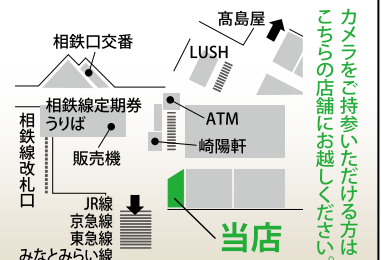
- フィルムカメラ、デジタルカメラ、レンズのみもOKです。
- メーカー、年代が不明でも大丈夫です。

お問い合わせ TEL.045-323-1162

【営業時間】9時～21時 【定休日】横浜ジョイナスに準ずる 横浜市西区南幸1-5-1 横浜ジョイナス1F
<https://www.camesuzu.photos/> 古物商許可証番号: 神奈川県公安委員会 第451370009487号



～フィルムカメラを次の世代へ～
豊かな写真文化の継承に取り組みます



この道25年
次の世代への橋渡し人

鈴木健士

～創業80年～

カメラはスズキ ジョイナス店

出張
無料